

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 大林道路株式会社

上場取引所 東

コード番号 1896 URL <http://www.obayashi-road.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 下村 泰久

TEL 03-3618-6500

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	54,167	—	△675	—	△723	—	△564	—
20年3月期第3四半期	55,406	9.6	△45	—	△79	—	△332	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△12.10	—
20年3月期第3四半期	△7.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	73,879	22,211	30.1	476.66
20年3月期	78,495	23,049	29.4	494.42

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 22,211百万円 20年3月期 23,049百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	△3.2	800	△50.5	720	△52.7	210	△61.9	4.51

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外

— 社(社名)

)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧下さい。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧下さい。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 46,818,807株 20年3月期 46,818,807株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 221,141株 20年3月期 198,521株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 46,611,638株 20年3月期第3四半期 46,636,862株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月10日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（参考） 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	91,500	△3.4	760	△50.9	700	△51.3	200	△59.6	4.29

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想については、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（9ヶ月）におけるわが国経済は、米国発の金融危機が実体経済の低迷に大きく影響し、急激な円高や設備や雇用の過剰感が強まり、景気が急速に悪化いたしました。

道路建設業界におきましては、公共投資が低調に推移しており、設備投資の中止や延期等により減少傾向が強まり、大変厳しい状況にありました。

このような状況の下で、当社グループは工事受注量の確保と製品販売に努めてまいりましたが、受注高は前年同四半期と比べ14.8%減の626億4千4百万円となりました。

また、売上高につきましては、前年同四半期に比べ2.2%減の541億6千7百万円となりました。

利益につきましては、受注競争の激化と原材料価格の上昇が大きく影響し、売上総利益は前年同四半期と比べ17.5%減の31億8千2百万円となり、経常損失は6億4千3百万円増の7億2千3百万円となりました。四半期純損失につきましては、前年同四半期に比べ2億3千1百万円増の5億6千4百万円となりました。

なお、上記の前年同四半期増減率及び増減金額は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、第4四半期連結会計期間に完成する工事が集中するため、繰越高が増加し売上高が減少するので、「未成工事支出金」が増加し「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ46億1千5百万円減の738億7千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中するといった季節的変動により工事施工高と売上高が低調な時期で繰越高が増加傾向にあるため、「支払手形・工事未払金等」が減少し「未成工事受入金」が増加することと、借入金の返済を行ったことなどから、前連結会計年度末に比べ37億7千6百万円減の516億6千8百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度の利益処分に加え四半期純損失を計上したことなどから、前連結会計年度末に比べ8億3千8百万円減の222億1千1百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に未成工事受入金の増加により営業活動によるキャッシュ・フローが増加しましたが、有形固定資産の取得による支出や短期借入金の返済による支出により投資活動によるキャッシュ・フローと財務活動によるキャッシュ・フローが減少したため、前連結会計年度末と比較して2億2千4百万円減少し、64億3千9百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、季節的変動により完成工事高が減少し繰越高が増加する時期であるため、主に未成工事受入金の増加により、20億2千5百万円のプラスとなりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、アスファルト混合所設備の更新、営業所の建て替え等の固定資産の取得に伴う支出により9億4千9百万円のマイナスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済により、12億9千8百万円のマイナスとなりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、急激な景気後退による設備投資の大幅な縮小傾向により、建設業界における受注環境は急速に悪化したため、売上高は920億円（前年同期比 3.2%減）、営業利益は8億円（前年同期比 50.5%減）、経常利益は7億2千万円（前年同期比 52.7%減）、当期純利益は2億1千万円（前年同期比 61.9%減）となる見込みです。

期末配当予想については、業績予想の下方修正を行ったことに伴い、誠に遺憾ながら記念配当を取り止め、普通配当3円00銭のみに修正させていただきます。

詳細につきましては、別途本日公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失への影響はなく、税金等調整前四半期純損失が10百万円増加しています。

③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,439	6,664
受取手形・完成工事未収入金等	21,603	35,993
有価証券	20	—
販売用不動産	18	29
材料貯蔵品	401	438
未成工事支出金	21,362	11,760
その他	2,774	2,401
貸倒引当金	△31	△43
流動資産合計	52,589	57,242
固定資産		
有形固定資産		
土地	11,879	11,837
その他（純額）	5,590	5,384
有形固定資産合計	17,470	17,222
無形固定資産	297	318
投資その他の資産		
その他	4,172	4,308
貸倒引当金	△651	△596
投資その他の資産合計	3,521	3,711
固定資産合計	21,289	21,252
資産合計	73,879	78,495

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年3月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,670	32,789
短期借入金	6,400	6,200
未払法人税等	125	752
未成工事受入金	9,418	5,385
完成工事補償引当金	55	55
工事損失引当金	355	397
その他	2,294	2,353
流動負債合計	45,319	47,933
固定負債		
長期借入金	—	1,300
再評価に係る繰延税金負債	2,062	2,062
退職給付引当金	4,098	4,065
その他	187	83
固定負債合計	6,349	7,511
負債合計	51,668	55,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,293	6,293
資本剰余金	6,095	6,095
利益剰余金	9,769	10,473
自己株式	△46	△43
株主資本合計	22,112	22,819
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118	251
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	△19	△19
評価・換算差額等合計	98	230
純資産合計	22,211	23,049
負債純資産合計	73,879	78,495

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	54,167
売上原価	50,985
売上総利益	3,182
販売費及び一般管理費	3,857
営業損失(△)	△675
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	6
技術指導料	16
持分法による投資利益	0
その他	19
営業外収益合計	68
営業外費用	
支払利息	97
その他	18
営業外費用合計	116
経常損失(△)	△723
特別利益	
固定資産売却益	10
貸倒引当金戻入額	17
その他	8
特別利益合計	36
特別損失	
固定資産売却損	3
固定資産除却損	50
その他	23
特別損失合計	78
税金等調整前四半期純損失(△)	△765
法人税、住民税及び事業税	85
法人税等還付税額	△37
法人税等調整額	△249
法人税等合計	△201
四半期純損失(△)	△564

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△765
減価償却費	968
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33
受取利息及び受取配当金	△31
支払利息	97
持分法による投資損益 (△は益)	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	14,358
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△9,602
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,118
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	4,032
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△452
その他	513
小計	3,075
利息及び配当金の受取額	43
利息の支払額	△95
法人税等の支払額	△1,035
法人税等の還付額	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,013
有形固定資産の売却による収入	27
その他	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△949
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,100
リース債務の返済による支出	△55
自己株式の取得による支出	△3
配当金の支払額	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△224
現金及び現金同等物の期首残高	6,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,439

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- （４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- （５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

	建設事業 (百万円)	製造・販売他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	44,447	9,720	54,167	—	54,167
（２）セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,639	4,639	(4,639)	—
計	44,447	14,360	58,807	(4,639)	54,167
営業利益又は営業損失(△)	453	556	1,009	(1,685)	△675

（注）事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

- （１）事業区分の方法
日本標準産業分類及び連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。
- （２）各事業区分に属する主要な内容
建設事業：舗装、土木、建築工事その他建設工事全般に関する事業
製造・販売他事業：アスファルト合材等舗装用材料の製造・販売に関する事業他

〔所在地別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- （６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

（要約）四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額（百万円）
I 売上高	55,406
II 売上原価	51,548
売上総利益	3,858
III 販売費及び一般管理費	3,903
営業損失（△）	△45
IV 営業外収益	78
V 営業外費用	112
経常損失（△）	△79
VI 特別利益	91
VII 特別損失	292
税金等調整前四半期純損失（△）	△281
税金費用	50
四半期純損失（△）	△332

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

	前第3四半期会計期間末 (平成19年12月31日)			当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)			前事業年度末に係る 10要約貸借対照表 (平成20年3月31日)		
区分	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)									
I 流動資産									
1 現金及び預金	3,509			6,274			6,439		
2 受取手形・完成工事未収入金等	24,444			21,479			35,926		
3 有価証券	—			20			—		
4 販売用不動産	29			18			29		
5 材料貯蔵品	462			401			438		
6 未成工事支出金	22,649			21,224			11,765		
7 その他	2,584			2,800			2,399		
貸倒引当金	△40			△31			△44		
流動資産合計		53,640	71.6		52,188	71.0		56,953	72.8
II 固定資産									
1 有形固定資産									
(1) 土地	11,827			11,879			11,837		
(2) その他	5,328			5,566			5,380		
有形固定資産計	17,156			17,446			17,218		
2 無形固定資産	312			296			317		
3 投資その他の資産									
(1) その他	4,432			4,175			4,301		
貸倒引当金	△614			△651			△596		
投資その他の資産計	3,818			3,524			3,704		
固定資産合計		21,286	28.4		21,267	29.0		21,241	27.2
資産合計		74,927	100		73,455	100		78,194	100

	前第3四半期会計期間末 (平成19年12月31日)			当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)			前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)		
区分	金額（百万円）	構成比 (%)		金額（百万円）	構成比 (%)		金額（百万円）	構成比 (%)	
(負債の部)									
I 流動負債									
1 支払手形・工事未払金等	28,168			26,544			32,740		
2 短期借入金	5,200			6,400			6,200		
3 未払法人税等	25			116			716		
4 未成工事受入金	8,181			9,350			5,385		
5 完成工事補償引当金	46			55			55		
6 工事損失引当金	434			355			397		
7 その他	2,330			2,284			2,343		
流動負債合計		44,386	59.2		45,106	61.4		47,839	61.2
II 固定負債									
1 長期借入金	2,300			—			1,300		
2 再評価に係る繰延税金負債	2,062			2,062			2,062		
3 退職給付引当金	4,017			4,098			4,065		
4 その他	77			187			83		
固定負債合計		8,458	11.3		6,349	8.6		7,511	9.6
負債合計		52,844	70.5		51,455	70.0		55,351	70.8

	前第3四半期会計期間末 (平成19年12月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
区分	金額（百万円）	構成比 (%)	金額（百万円）	構成比 (%)	金額（百万円）	構成比 (%)
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	6,293	8.4	6,293	8.6	6,293	8.1
2 資本剰余金	6,095	8.1	6,095	8.3	6,095	7.8
3 利益剰余金	9,447	12.6	9,558	13.0	10,267	13.1
4 自己株式	△42	△0.0	△46	△0.1	△43	△0.1
株主資本合計	21,794	29.1	21,901	29.8	22,613	28.9
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金	307	0.4	118	0.2	251	0.3
2 繰延ヘッジ損益	—	—	—	—	△1	△0.0
3 土地再評価差額金	△19	△0.0	△19	△0.0	△19	△0.0
評価・換算差額等合計	287	0.4	98	0.2	230	0.3
純資産合計	22,082	29.5	22,000	30.0	22,843	29.2
負債純資産合計	74,927	100	73,455	100	78,194	100

(注) この四半期個別貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (要約) 四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

区分	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			対前第3 四半期比 増減 (百万円)
	金額 (百万円)		比率 (%)	金額 (百万円)		比率 (%)	
I 売上高							
1 完成工事高	45,115			44,242			
2 製品等売上高	10,217	55,332	100	9,707	53,949	100	△1,382
II 売上原価							
1 完成工事原価	42,269			41,914			
2 製品等売上原価	9,242	51,511	93.1	8,922	50,837	94.2	△674
売上総利益							
1 完成工事総利益	2,845			2,327			
2 製品等売上総利益	974	3,820	6.9	784	3,112	5.8	△708
III 販売費及び一般管理費		3,857	7.0		3,813	7.1	△43
営業損失		36	△0.1		701	△1.3	△664
IV 営業外収益							
1 受取利息	19			24			
2 受取配当金	10			18			
3 技術指導料	21			16			
4 その他	29	80	0.2	19	79	0.1	△1
V 営業外費用							
1 支払利息	98			97			
2 その他	13	112	0.2	18	116	0.2	4
経常損失		68	△0.1		739	△1.4	△670
VI 特別利益							
1 固定資産売却益	8			10			
2 貸倒引当金戻入額	21			17			
3 その他	58	87	0.1	5	33	0.1	△53
VII 特別損失							
1 固定資産売却損	11			3			
2 固定資産除却損	91			50			
3 その他	190	293	0.5	21	75	0.2	△217
税引前四半期純損失		273	△0.5		780	△1.5	△506
法人税、住民税及び事業税	60			76			
法人税等還付税額	—			△37			
法人税等調整額	△9	50	0.1	△250	△211	△0.4	△261
四半期純損失		324	△0.6		568	△1.1	△244

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

6. その他の情報

(1) 個別業績の概況

平成21年3月期第3四半期の個別業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

① 個別経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	53,949	—	△701	—	△739	—	△568	—
20年3月期第3四半期	55,332	12.1	△36	—	△68	—	△324	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△12.20	—
20年3月期第3四半期	△6.95	—

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第3四半期	73,455	22,000	30.0	472.14
20年3月期	78,194	22,843	29.2	490.00

（参考）自己資本 21年3月期第3四半期 22,000百万円 20年3月期 22,843百万円

（注）上記の個別業績は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 個別の受注・売上・繰越高

a. 平成21年3月期第3四半期の個別受注実績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(百万円未満切捨て)

	受 注 高	
平成21年3月期第3四半期	62,217百万円	△15.2%
平成20年3月期第3四半期	73,341百万円	10.0%

(注) 1. 受注高は、当第3四半期まで累計額

2. パーセント表示は、前年同四半期比較増減率

b. 平成21年3月期の個別受注予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(百万円未満切捨て)

	受 注 高	
平成21年3月期予想	88,500百万円	△14.0%
平成20年3月期実績	102,899百万円	11.1%

(注) パーセント表示は、前期比増減率

c. 受注実績内訳

(百万円未満切捨て)

区 分		平成21年3月期 第3四半期		平成20年3月期 第3四半期		比較増減 (百万円)	増減率 (%)
		受注高 (百万円)	構成比 (%)	受注高 (百万円)	構成比 (%)		
工 事 部 門	国内官公庁	14,252	22.9	15,717	21.4	△1,465	△9.3
	国内民間	38,257	61.5	46,318	63.2	△8,060	△17.4
	海 外	—	—	1,087	1.5	△1,087	—
	計	52,510	84.4	63,124	86.1	△10,614	△16.8
製 品 等 部 門		9,707	15.6	10,217	13.9	△510	△5.0
合 計		62,217	100	73,341	100	△11,124	△15.2